

体裁主義が就職活動に与える影響について

慶應義塾大学 経済学部 大垣昌夫研究会 3年

三宅 勇輝¹、中込 昂佑²、楠見朋也³

要約

本稿では、就職活動に着目し、「体裁主義の強い人ほど企業のネームバリューを重視し、それゆえ大手の企業への入社を希望する。自己肯定感の強い人ほど、自らのやりたいこと、裁量を重視し、ベンチャー企業への入社や起業を志す」という研究仮説を立てた。そこで、Google Form でアンケートを作成し、LINE・Twitter 等の SNS やそれに類するツールを用いて拡散し、回答を得た。アンケート結果を集計し、回帰分析を行ったところ、「体裁主義の世界観を強く持つ人は、ネームバリューを重視するため、大手の企業を志望しやすい」という仮説と整合的で有意な結果を得ることができた。

JEL 分類番号： D9

キーワード：体裁主義, 就職活動, 自己肯定感

¹ 三宅勇輝, 慶應義塾大学

² 中込昂佑, 慶應義塾大学

³ 楠見朋也, 慶應義塾大学 ktomoya@keio.jp

1. イントロダクション

ほとんどの人が一度は経験する就職活動。多く人は人生の転機となる選択を迫られることになる。人はどのように自らが身を置く環境を選ぶのだろうか。給料や会社

のネーム、仕事内容や与えられる裁量など、重視する観点は人によって異なる。ここには、その人の持つ世界観が影響を与えると考えられる。

就職活動の際重視する観点として、仕事の内容や与えられる裁量、その企業のネームの大きさ、給料や福利厚生が主として挙げられるが、我々日本人、特に新卒と言われる大学生世代は、人からどう見られるか、どう見られたいかを重視してネームの大きな企業を望むか否か、また自分のやりたいこと、やれることを信じて裁量や内容を重視することができるか、が就職先を選択する際の大きな分岐点になると考えた。給料や福利厚生は上記を選んだ後でも考慮の余地があり、一番初めに選択することになるのが上で挙げたポイントであるだろう。

多くの日本人は意識的でなくても大きなネームを望み、やりたいことがあっても自分に自信を持たずに裁量や仕事内容を後回しにしているのではないだろうか。

また大きなネームを望む理由としては、日本人の危険回避選好も考える必要がある。給料の大きな上下動や失業に対する収入に関するリスク嫌悪性も就職に大きな影響を与えると考えられる。

そこで我々は、物事、事象の内容、中身よりも外見、見てくれを重視する体裁主義と、自らに自信を持ち、自らを価値のある存在だと考える自己肯定感の強弱が就職先の業種、また就職活動の際に重視するポイントを選択する行動に影響を与えると考えた。

2. 研究仮説

本稿においては、体裁主義を中身より外見を重視する世界観、自己肯定感を自らを肯定する感覚、と定義する。また、世界観について、Hiebert(2008)より「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている、現実の性質についての認識、感情、判断に関する、基礎的な仮定と枠組み」と定義した(訳文、大垣昌夫・田中沙織「行動経済学」p194)。

イントロダクションでも述べた通り、体裁主義の度合いが強い人ほど他者や社会からどう見られるかを気にするため、企業のネームバリューを重視し、その結果大手の企業への入社を希望する傾向にあると考えた。また、自己肯定感の強い人ほど、自らのやりたいことや、自分に与えられる裁量を重視し、ベンチャー企業への入社や起業を志す傾向があるのではないかと考え、これら二つを研究仮説として設定した。

3. 研究方法

研究方法として、アンケート調査を行った。Google Form でアンケートを作成し、LINE・Twitter 等の SNS やそれに類するツールを用いて知人に拡散し、回答を得た。

体裁主義など、世界観に関する質問によって得られた数値を説明変数、経済行動に関する質問によって得られた数値を被説明変数とし、それらについて各質問ごとに単回帰分析を行った。

4.研究結果

研究仮説に則った結果が出た具体的な質問を以下にまとめる。

<表 1>

説明変数(体裁主義に関する質問、表の中では 1 とする)

・恋人を選ぶ時顔と中身、どちらをどれだけ重視するか足し合わせて 100%になるように選んでください。

・就活の際、ネームバリューの高さと自分のやりたいこと、どちらをどれだけ重視するか足し合わせて 100%になるように選んでください。

これらの回答を各個人について足し合わせて、体裁主義の度合いを測った(例えば、1つ目の質問の答えが顔:60、中身:40 で、二つ目の質問の答えがネームバリュー:60%、やりたいこと:40%だとした場合、その人の体裁主義度合いは 120 とした)

被説明変数(就職活動に関する質問、表の中では 2 とする)

・どういった進路に進みたいか、希望する選択肢に 1 から番号を振ってください

日系大手

外資系

ベンチャー

起業

その他

結果：体裁主義と日系大手の回帰分析

説明変数	被説明変数	係数	P 値
1	2	0.019074397	0.000476526

<表 2>

説明変数(体裁主義に関する質問、表の中では 1 とする)

表 1 で述べたものと同じ内容の質問を用いた.

被説明変数(就職活動に関する質問、表の中では 2 とする)

・就職活動をする際に、どういった要素をどれだけ重視するか, 以下の中で 最も重視するものから番号を振ってください

ネームバリュー

給料

仕事内容

キャリアアップ

裁量

結果：体裁主義とネームバリューの回帰分析

説明変数	被説明変数	係数	P 値
1	2	0.01551961	0.02312289

<表 3>

説明変数(体裁主義に関する質問、表の中では 1 とする)

表 1 で述べたものと同じ内容の質問を用いた.

被説明変数(就職活動に関する質問、表の中では 2 とする)

表 2 で述べたものと同じ内容の質問を用いた.

結果：体裁主義と仕事内容の回帰分析

説明変数	被説明変数	係数	P 値
1	2	-0.0123937	0.03391921

5.考察

結果として、体裁主義とネームバリューに正の相関が得られた。つまり、体裁主義の人ほど就職活動の際にネームバリューを重視して企業を選ぶという我々の仮説と一致する結果が得られた。これに加え、体裁主義と日系大手に正の相関が見られた。これにより、体裁主義の人ほど大手企業を選ぶ傾向があると考えられる。

また、体裁主義とベンチャー企業に負の相関は得られなかった。しかし、体裁主義と仕事内容には負の相関が見られた。このことより、体裁を重視しない人ほどベンチャー企業を志望するのではなく、就職活動の際に仕事内容を重視して企業を選ぶと考えられる。

自己肯定感と体裁主義に関しては何らかの相関は得られなかった。このことに関しては、自己肯定感がある人ほど自分に自信がある = 大手企業でもやりたいことをできる立場になることができる、と考え大手企業を志望する人もいと推測できる。

今後の研究で、危機回避とそれぞれについて重回帰分析を行い、考察を深めていきたいと考えている。

6.結論

以上により、「体裁主義の度合いが強い人ほど企業のネームバリューを重視し、その結果大手の企業への入社を希望する傾向にある」という結論に至った。

引用文献

¹本文, Hiebert, P.G.(2008) Transforming Worldviews: An Anthropological Understanding of How People Change, Baker Academic.

¹訳文, 大垣昌夫・田中沙織, 2014, 「行動経済学」(p194), 有斐閣, 東京.